



平成23年度 國學院大學栃木中学校入学式

頭・心・体の力を鍛え 人生の土台作りを

平成23年4月6日(水)、暖かな春の日差しの中、午後1時より國學院大學栃木中学校第16回入学式が生徒会館大ホールにて挙行された。16期生60名は新しい学校生活への期待を胸に、入学式に臨んだ。

入学式

影山博校長は、式辞で次のように述べた。本校は平成八年に中高一貫の六か年教育を行うべく、設立されました。高等学校は昭和三十五年に開校し、昨年には創立五十周年を迎えています。また本校の母体である國學院大學は、一八九九年前の明治十五年に皇典講究所として創設され、初代総裁の有栖川宮職仁親王は開墾式で、我が国の歴史や文化・伝統をよく知り、人格・品位を向上させ、立派な日本人になりなさいと諭されています。この告諭を國學院大學は「建学の精神」として高く掲げ、本校の教育もこの精神をもって行われていま

す。高等学校の初代校長であった佐々木周二先生はこの建学の精神を基に、頭、心、体の三つの力の調和した人材を育成する「鍛える教育」を提唱されました。「頭の力」とは学力です。本校生徒としての自覚を持つて、まずは勉強に全力投球です。一所懸命、授業に集中し、与えられた課題を誠実にこなして学力をつけて下さい。次に「心の力」

です。知性、豊かな心、道徳心は君たちの人格の完成に必要です。「知性」とは知識を活かす力のこと、高い教養を意味することもあります。「豊かな心」は他人を思いやる心、感情をコントロールできる能力などです。「道徳心」は善悪の判別が正しくでき、善行を行うおうとする心です。本校では心の力を向上させるため、道徳の時間を重視し、体験学習にも積極的に取り組みます。また華道・茶道など日本の伝統的文化に接することで、礼法を身につけることも行っていくつもりです。「体の力」は言うまでもなく、健康な身体です。健康でなければ、「頭の力」も「心の力」も絵に描いた餅になってしまいます。「健全なる精神は健全なる身体に宿る」ということです。



式辞を述べる影山博中学校長



松下裕香さんの宣誓

学園坂を上ると右側の植え込みの中に「たくましく直く 明るく さわやかに」の文字が彫り込まれた校訓碑が建っています。佐々木周二先生の提唱された三つの力のうちの心と体の力を表現しており、本校の目指す人間像です。

平成八年に中学校を開校した時の初代校長である木村好成先生の教育姿勢は、一貫して佐々木周二先生の教育に対する考えを継承・発展させようというものでした。佐々木・木村の両先生は國學院大學の教育精神をもつて、立派な日本人を育てようとして本校を創ったのです。君たちもそのことをよく考え、國學院大學栃木中学・高等学校の六年間で、人生の土台となる頭・心・体の力を育み、精進して

いつて欲しいと思います。」次に木村好成理事長より「大人として、また日本人としての自覚を持ち、しっかりと物事を考えて、責任ある行動が取れる人間にな

ってほしい。」との祝辞があった。その後、新入生を代表して松下裕香さんが、「校訓の『たくましく 直く 明るく さわやかに』のもと、勉強や運動を頑張る、いろいろなことに挑戦し、自分を大きくするため一生懸命努力します。」と力強く宣誓した。

始業式・対面式

四月七日(木)に一学期始業式が生徒会館大ホールで実施された。影山博校長は、「中学高校六年間で人生の土台をしっかりと作るために、学習活動や学校行事、部活動などに励み、『頭・心・体の力』を鍛えなさい。」と話した。続いて中副校長より学年主任、担任が発表された。

その後、第二グラウンドにて、中学高校合同で対面式が行われ、全校生徒が一室に会し、新年度の学校生活が始まりました。

新入生

オリエンテーション

四月八日(金)に新入生オリエンテーションが実施された。最初に服部正幸生活指導主任が、学校生活を楽しく安全に送るために必要

教務日誌抄(中学)

1日(火) ニュージールランド語学研修帰国

5日(土) 第2回新入生ガイダンス

11日(金) 新入生学力試験

14日(月) 身体計測・大掃除

15日(火) 卒業式予行

19日(土) 第13回卒業式

22日(火) 奉仕活動

6日(水) 入学式

7日(木) 始業式・対面式

8日(金) 一年身体計測

11日(月) 授業開始

12日(火) 課題テスト

13日(水) 一年オリエンテーション

15日(金) 心電図検査

21日(木) 生徒総会

25日(月) 第一回学力診断テスト

30日(土) 歯科検診

避難訓練